

貸借対照表

(平成28年12月31日現在)

東海工業株式会社

(単位:千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
資産の部	金額	負債の部	金額
I 流動資産	1,348,712	I 流動負債	723,392
現金預金	20,175	買掛金	585,454
受取手形	134,779	未払金	33,432
売掛金	763,154	未払法人税等	3,079
棚卸資産	187,894	賞与引当金	12,076
預け金	177,573	その他の	89,351
短期貸付金	29,082		
未収連結法人税	8,602	II 固定負債	185,424
繰延税金資産	8,206	退職給付引当金	174,703
その他の	19,247	リース負債	2,101
		その他の	8,620
II 固定資産	587,817		
1.有形固定資産	444,387	負債の部計	908,816
建物	132,082		
構築物	61,780		
機械装置	121,719		
土地	118,770		
建設仮勘定	8,853		
リース資産	1,183		
2.無形固定資産	6,571		
その他の	5,079		
リース資産	1,492		
3.投資等	136,859		
子会社株式	35,062	I 株主資本	1,027,713
関係会社株式	4,900	1.資本金	400,000
長期貸付金	35,320	2.資本剰余金	40,999
繰延税金資産	43,365	資本準備金	40,999
その他の	18,212	3.利益剰余金	586,713
		利益準備金	83,600
		その他利益剰余金	503,113
		別途積立金	160,000
		繰越利益剰余金	343,113
		II 評価・換算差額等	0
		純資産の部計	1,027,713
合計	1,938,529	合計	1,938,529

(注) 千円未満切り捨てで表示している。

個別注記表

東海工業株式会社

自:平成28年 1月 1日
至:平成28年12月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価方法及び評価基準

(1)子会社株式及び関連会社株式……移動平均法による原価法によっている。

(2)その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

評価差額は全部資本直入法により処理している。

時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

2. 棚卸資産の評価方法は、移動平均法による低価法によっている。

3. 固定資産の減価償却方法……有形固定資産、鉱業権を除く無形固定資産は定額法。

鉱業権は生産高比例法、リース資産はリース資産定額法によっている。

尚、自社使用のソフトウェアについては、利用可能期間(5年)に基づく定額法を使用している。

4. 引当金の計上基準

(1)賞与引当金・役員賞与引当金

従業員・役員の次回の賞与支給に備えて、次回支給見込額のうち当期負担分を計上している。

(2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。(退職給付に係る会計基準のうち簡便法を採用している。)

(3)役員退職慰労積立金

役員の退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく当会計年度末要支給額を計上している。

(4)その他固定負債(微量PCB含有機器処理費用引当)

微量PCB含有機器を処分する費用を試算し計上している。

5. 消費税等の会計処理は、税抜処理、個別対応方式によっている。

以 上